

令和 7年 9月10日

区長・集落組合長 様

富士見町 総務課 まちづくり推進係

「集落点検シート」の各区集計結果について

日頃より町地域運営支援事業にご理解ご協力を賜り感謝申し上げます。

さて、本年2月から6月にかけて、各区長・集落組合長様にご協力いただきました「集落点検シート」の集計結果がまとまりました。

ここに結果をお送りいたしますので、今後の区運営のご参考にしていただければと思っております。

結果から見る大きな課題は、「区内人口の減少」「高齢化」「区の加入」の各問題を基とし、区運営の「出払い等作業が困難」「区役員等のなり手不足」などの課題の発生ですが、これは町内全地区に大なり小なり見られる現象となってきました。

町としましても今後もそうした課題に取り組んでまいりますが、区特有の課題もありますので、今回の結果を参考に区でも取り組みがされることを期待いたします。

また、今回の調査に関しまして、区長、集落組合長様には、就任直後から大変お忙しい時期でのご協力をいただき、改めて感謝申し上げます。

総務課 まちづくり推進係

係長：平出 集落支援員：小池義弘

〒399-0292 富士見町落合 10777

TEL 0266-78-8187 FAX 0266-62-4481

Email machi@town.fujimi.lg.jp

集落点検シート 調査結果

本調査につきましては、各区長・集落組合長の皆さまには大変お忙しい時期にご回答をいただき感謝申し上げます。(調査期間 令和7年2月～6月)

今回は、町内39区のうち35区のご協力をいただきました。

その調査の結果をまとめましたので、今後の区運営の参考にいただければ幸いです。

質 問 事 項	回 答 数
---------	-------

◆1 地区力の源(みなもと)

◎地区に住んでいる人

◇1-1 何人住んでいるか把握していますか	いる	いない	
	25 地区	10 地区	
◇1-2 高齢者だけの世帯を把握していますか	いる	いない	不明
	30 地区	0 地区	5 地区

◆2 地区力の勢い(いきおい)

◎地区の人口の変化

◇2-1 近年(5年)の地区内の人口の変化は	増加	減少	変化なし	不明
	7 地区	20 地区	3 地区	5 地区
◇2-2 近年の地区内の世帯数の変化は	増加	減少	変化なし	不明
	10 地区	15 地区	7 地区	3 地区
◇2-4 近年の地区内の高齢者数の変化は	増加	減少	変化なし	不明
	21 地区	4 地区	5 地区	5 地区

◆3 地区力のつながり

◎地区の資産とその維持管理

◇3-1 共同管理の施設はありますか	ある	ない	
	30 地区	5 地区	
施設	公民館・神社・公園・共同墓地 他		
その利用	会議・集会・行事 他		
管理方法は	区役員・区民の輪番制 他		
◇3-3 共同管理の土地・山林等がありますか	ある	ない	
	30 地区	5 地区	
施設	区有林・財産区林 他		
その利用	草刈り、植樹などの維持		
管理方法は	出払い作業・区役員作業 他		

◎地区の作業・活動

◇3-6 地区の作業・活動はありますか	ある	ない
	35 地区	0 地区
その内容は	区内の道路、水路、溜池、公園などの草刈り作業	
	区有林の下払い作業 他	
	お祭り・親睦会・運動会・防災訓練 他	

◇3-7 作業・活動の頻度は	1～2回／年	3～4回／年	5回以上／年	ない
	8 地区	13 地区	11 地区	* 地区

◇3-9 作業・活動で困ったことや気づいたこと	ある	ない	回答なし
	28 地区	3 地区	4 地区
その内容とは	人手不足・参加者不足(高齢化、区民減 他)		

◎地区内外の協力・連携

◇3-10 日常生活で地区内の助け合いはありますか	ある	ない	不明
	23 地区	10 地区	2 地区
その内容とは	近所への声掛け・共同の雪かき・ 高齢者の見守り・買い物、通院の手伝い 他		

◆4 地区力の資源

◎地区の資源・魅力

◇4-1 地域の資源として思い浮かぶものは	ある	ない	不明
	18 地区	15 地区	2 地区
その内容とは	リゾート施設・企業の誘客施設・特産品の栽培 歴史、文化施設・人の良さ 自然の豊かさ・眺望・田園風景・水資源 他		

◆5 地区力の基盤

◎地区の立地

◇5-1 地区中心から役場までの距離は	2km以内	2～5km	5～10km	10km以上
	3 地区	22 地区	8 地区	2 地区
◇5-2 地区中心から小学校までの距離は	2km以内	2～5km	5～10km	10km以上
	6 地区	23 地区	4 地区	2 地区
◇5-3 地区中心から病院までの距離は	2km以内	2～5km	5～10km	10km以上
	3 地区	23 地区	7 地区	2 地区
◇5-4 地区中心から商店までの距離は	2km以内	2～5km	5～10km	10km以上
	3 地区	21 地区	9 地区	2 地区

◎地区の環境

◇5-5 子どもの遊び場は	ある	ない
	27 地区	8 地区
その場所は	公園・グラウンド・神社・公民館の庭・小学校の校庭 他 パノマリゾート・ゆめひろば	

◇5-7 避難できる場所は	ある	ない
	35 地区	0 地区
その場所は	公民館・小学校・神社 他 道の駅・富士見高原リゾート	

◇5-11 少量の雨でも水かさが増す河川は	ある	ない	不明
	14 地区	18 地区	3 地区
その河川は	前川・程久保川・一の沢川・二の沢川・乙貝川・母沢川 切掛川・釜無川・貉沢川・小母沢川・百々川		

◎地区の社会基盤

◇5-16 道路・農道で荒れている場所は	ある	ない	不明
	25 地区	6 地区	4 地区
その場所は	区内道路・農道・県道 舗装の劣化が著しい・穴ぼこが多い 他		

◆6 地区力の自立性

◎地区の就業状況

◇6-1 地区内で働いている人はいますか	いる	いない	不明
	9 地区	2 地区	24 地区
◇6-6 近隣市町村に通勤している人はいますか	いる	いない	不明
	4 地区	3 地区	28 地区

◎地区の産業

◇6-9 地区の農林業の状況は	高齢化等の人手不足による農業従事者の減少 不耕作地の増加・自家消費分がやっと 農業法人や担い手がいる農家は良い方 林業従事者はいない・山林は荒れ放題
-----------------	---

◆7 地区力の将来性

◎将来の地区の人口・世帯数

◇7-1 10年後の地区の人口の変化は	増加	減少	変化なし	不明
	0 地区	24 地区	3 地区	5 地区

世帯数の変化は	増加	減少	変化なし	不明
	1 地区	23 地区	3 地区	5 地区

◇7-3 10年後の地区の高齢者数の変化は	増加	減少	変化なし	不明
	26 地区	3 地区	1 地区	5 地区

◎将来の地区の社会移動

◇7-7 今後、他地区に移住する人は	増加	減少	不明
	9 地区	7 地区	19 地区

◇7-8 今後、他地区から移住してくる人は	増加	減少	不明
	9 地区	10 地区	16 地区

◎将来の地区活動

◇7-9 今後地区人口の変化により、活動や作業は、どのように変化すると思いますか	高齢化、区民の減少で従前の作業や行事等を見直す必要が生じる (27地区)
	区民の減少により、区役員のなり手がなくなる (6地区)
	区に加入しない住民が増え、区民との関係が悪化する
	区有の施設、特に区有林には手が付けられなくなる
	災害時に対応できる区民がいなくなる 他

◇7-10 地区の将来をどう考えますか	高齢化、区民の減少で従来の作業や行事等が出来なくなり、区の運営自体も見直す必要が生じる (14地区)
	廃区となる・限界集落になる
	特産品のようなもので人を呼べるようにしてほしい 荒廃農地が増え続け、従事者がいなくなる
	様々な施設(店舗、農業施設、病院等)がなくなり、生活に不便な地区になってしまっている
	新たな移住者を迎える土地もない 子や孫と生活したくともそのスペースがない 他

◎まとめ

◆1 地区力の源

- ・区民人数を把握している地区は25地区(71.4%)でした。
- ・防災の面からも区民を把握して置くことは重要と考えます。

◆2 地区力の勢い

- ・ここ5年ほどの地区内人口が、増加したとする地区は7地区(20.0%)、減少した地区は20地区(57.1%)となり、世帯数においても同様の結果となっています。
- ・また、高齢者数が増加したとする地区は21地区(60.0%)となり、町全体で高齢化が進んでいます。

◆3 地区力のつながり

- ・地区所有の施設や土地については、30地区(85.7%)が所有しており、区民の利用が見られます。施設の管理は、区役員や区民の輪番制で掃除などを行っているようです。
- ・区有林については、下草刈りなどの作業は行っているものの、山林そのものの利用はほとんど見られません。高齢化等による作業の困難さも見受けられます。
- ・出払い作業については、35地区すべてで実施しておりますが、どの地区も人手不足は深刻です。
- ・地区内の助け合いについては、18地区(51.4%)が実施していると回答し、近所への声掛けや高齢者への支援などが行われています。

◆4 地区力の資源

- ・地域に資源があると回答した地区は18地区(51.4%)です。
- 眺望や田園風景など自然の豊かさから、歴史的建造物や観光施設まで様々ですが、「人の良さ」を挙げた地区もあり、どんな些細なことでも地区の特徴として資源になり得る可能性を持っています。

◆5 地域力の基盤

- ・地区中心部から役場、小学校、病院、商店までの距離が、2～5kmと回答した地区が21～23地区(62.8%)ありました。10km以上が2地区(5.7%)あり、高齢者にとっては遠い距離と言えます。
- ・子どもの遊び場では、27地区(77.1%)で公園や公民館の庭など利用できる場所があります。
- ・緊急時の避難場所は35地区すべてで、公民館や神社などの施設を活用しています。
- ・また、豪雨の際に危険とを感じる河川は14地区(40.0%)にあり、常にそうした河川に注意を向けていることは防災上必要な事項と思われます。
- ・社会基盤である地区内の道路では、舗装の劣化による穴等が多数見られ、行政の対応の迅速化や区により資材支給での補修などの必要性が感じられます。

◆6 地区力の自立性

- ・区民の就労状況については、不明と回答した地区が24～28地区(74%)ありました。区民の人数や家族構成は把握していても、勤務先までは把握できていないようです。プライベートな面もあり、把握は難しいかも知れません。
- ・地区の農林業ですが、高齢化や担い手不足により農業離れが進み、荒廃農地の増加が見られます。これは町全体で見られ、小集落ほど深刻な状況です。
- ・また林業については、個人山林はほとんど手付けずの状況となっており、荒れ放題の状況です。

◆7 地区力の将来性

- ・10年後には地区の人口が減少すると回答した地区は24地区(68.6%)あり、少子高齢化は更に深刻な状況となってくると思われます。
- ・人口の変化により地区の活動や作業への影響について、27地区(77.1%)が高齢化や区民減少で作業や行事の見直しが必要と回答しています。
地区の大小に関わらず、少子高齢化や区民の減少は大きな課題です。
- ・また、6地区(17.1%)で、区役員のなり手がなくなると回答しています。
現在でも限られた人(人数)で、役員を続けている事例が見受けられます。
- ・地区の将来については、14地区(40.0%)が、少子高齢化や区民減少で区の運営自体の危機感を感じていると回答しています。
廃区になる、限界集落になると危惧する地区もあります。
- ・地区維持のための移住者誘致についても、区への加入の理解や区の現状を知ってもらうなど、移住者の理解や区民の受け入れ態勢など多くの課題を抱えています。

※今回の調査を通じ、小集落や大きな集落に関わらず、少子高齢化と区民減少の課題は同じでした。

小集落では今現在深刻な課題となっていますが、区民数が多い集落でも、地区内の組や常会単位では同じ問題が出始めています。

多くの地区で将来的な課題がわかっていることについては良い結果と感じています。

地区の中で、より多くの区民が知恵を出し合い、課題の対策に向かうことを期待いたします。